

純資産の意味と分類

問題集p.67：少ないけれど、**重要ページ!**

簿記の一番最初に習った範囲であるが、確認。

貸借対照表

資産の部	負債の部 (他人資本)
	純資産(資本)の部 (自己資本)

純資産(資本)のことを **自己資本**、負債のことを **他人資本** ということがある。
このときに総資本というものも出てくる。

総資本 = 自己資本 + 他人資本

負債 + 資本 = 貸方合計

よって、

総資本 = 貸方合計

また、借方合計 = 貸方合計(貸借平均の原理)なので、

総資本 = 借方合計 = 資産合計にもなる。

※計算問題でよく出ます。覚えてね！

純資産の分類：絶対暗記！

純資産(資本) (右の項目の合計)	Ⅰ 株主資本 (右の項目の合計)	(1)資本金		
		(2)資本剰余金 (右の項目の合計)	1. 資本準備金	
			2. その他資本剰余金	
		(3)利益剰余金 (右の項目の合計)	1. 利益準備金	
	2. その他利益剰余金 (右の項目の合計)		①任意積立金 (新築積立金や別途積立金)	
			②繰越利益剰余金 (当期純利益はここに含まれる)	
	(4)自己株式(仕訳では出る、計算ではたまに出る、決算ではほぼ出ない)			
Ⅱ 評価・換算差額等				
Ⅲ 新株予約権				

今はピンとこないかもしれませんが、決算(BS)・計算問題を解くときに覚えていないとどうにもならなくなります。**P.67に重要なことが書かれてある**ことを頭に入れておいてください！